

作問意図

1. 論述問題

(1) 授業実践探究コース問題

授業実践探究コースでは、授業づくりにおいて理論と実践の往還を重視し、教育の最新動向を踏まえた実践的研究を進めている。現学習指導要領では、児童生徒の発達段階を考慮し、学習の基盤となる資質・能力を育成することが求められており、授業実践においては、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力といった基盤的な力を、各教科等での学びの中でどのように育成していくかが重要な課題となっている。そこで本問題では、これら3つの資質・能力の育成を意識した授業実践の在り方について、自らの考えを整理し、具体的に述べることを求める。

(2) 子ども支援探究コース問題

子ども支援探究コースでは、様々な背景を持つ子どもたちの支援を研究するために、生徒指導や教育相談の基礎用語をおさえておくことが必要である。今回の問題では、教育相談の目的を正しく理解し、その目的達成のために必要な学校の取り組みを論理的に考察する力を評価している。また「傾聴」、「アセスメント」、「チーム支援」という3つのキーワードを全て用いて記述させることで、個に応じた支援と学級・学校全体での組織的対応についての理解を問う問題となっている。

(3) 教育経営探究コース問題

いじめや不登校、保護者や地域住民からのクレーム、学校事故や災害対策等、学校は日常的に危機管理事項に囲まれて経営されている。そこでは、日常的に危機が発生しないようにしておくのと同時に、実際に危機が発生した時に適切な行動がとれるよう、日頃から対策を検討しておかなければならない。教育経営探究コース志望の受験生には、学校の危機管理に関する基礎知識を有することが求められるため、この問題を出題した。

2. 口述試験（場面指導）

この問いは、SNS上でのなりすまし被害という、現代の学校現場で実際に起こり得る深刻な事案を題材としている。被害を受けた児童生徒への寄り添いや信頼関係の維持、保護者との連携に加え、担任が一人で抱え込まず、校内の関係職員との情報共有や、必要に応じて外部機関と連携する姿勢が求められる。こうした多面的な対応力と教育的実践力に加え、情報モラル教育や再発防止に向けた指導・啓発の視点を持って対応できるかどうか、重要な評価の観点である。